

# 研究所 をふり返って

## 国語部門

国語部門に所属する小中学校の先生方にアンケートを実施し、その結果を基に「豊かに言語活動をいとなむ学習者の育成」単元を貫く言語活動の設定と発問の工夫を通して」と研究テーマを設定しました。研究の手がかりを得るため八月八日(金)に国語部門研修会を実施しました。熊大附属中の田上貴昭教授を講師に、詩の読みとりの模擬授業と「脳に汗をかく国語の授業」と題した講演が行われました。小学校から四十一人、中学校から二十六人の参加があり、楽しい中にも熱心な話し合いがなされました。

## 書写部門

本部門では毎年夏休みに元熊本大学教授森山秀吉先生を招聘し実技講習会を実施しています。

この講習会のよさは、森山先生の丁寧な筆遣いの指導に尽きます。一般的には字形中心の指導になりがちですが、基本的点画が中心です。「文字の形は筆の動きで変わるものだから筆の動かし方が大事なんです」と繰り返し指導されます。裏打ちの講習も継続しています。今年度文化展は裏打ちの出来栄もよく、作品が引き立ちました。本研修会への参加、誠に有り難うございました。

## 音楽部門

音楽部門別研修会は、八月二十五日(月)に天草市立本渡中学校を会場とし、講師に熊本県立教育センター指導主事、中村理恵先生をお迎えして実施しました。午前中は鑑賞教育についての発表と講義を、午後は授業づくりの実技講習会という日程でした。とても多彩な内容で、表現力を高めるための言語活動の取り入れ方やわらべ唄を使った基礎的技能的の身に付け方、ICT機器の授業での活用方法など、今後の天草の音楽教育の向上に資する研修であったと思います。

## 社会部門

社会科部門は、小・中に分かれています。研究委員会は合同で行い情報交換をし、授業は参観しあっています。小学校部門は、二十数人の会員で自主サークルをつくり、県小社研のテーマをうけながらも天草独自の研究を行っています。本年度は「社会への確かな理解と社会的なものの方・考え方をもちた子どもを育てる社会科学習の在り方」を副主題として、授業研究部、地域調査部、資料作成部の三部で活動しました。八月の地域教材に関する巡検、十一月の熊本県小社研大会での「天草太鼓」の実践発表が主な活動でした。

## 図工・美術部門

天草市立本渡中学校に三十三人(小学校十八人、中学校十五人)の会員が集まり、午前中は合同で水彩画の指導について三コマ(主題と構図(小堀公己講師)・彩色と色の効果(鈴木磨紀子講師)・水彩技法(坂本進講師))、午後は小中に分かれて(小↓木版画指導(若松健智講師)中↓題材研究会(坂本進司会))研修を行いました。研修の実施方法が変更になった効果が早速出て、昨年より多くの会員が集まり研修が充実しました。来年度は更に内容を工夫し指導力向上を目指したいです。

## 算数・数学部門

十二月十一日、上天草市立津小学校・松島中学校において天草郡市算数・数学教育研究会を開催しました。当日は、八十人を超える参加者を得て、盛会の内に会を終えることができ、九年度間で育成する数

学的な思考力・表現力等を育む授業の工夫・改善」のテーマのもと研究してきたことを研究授業を通して検証することができました。講演をいただいた熊本大学の山本教授をはじめ指導助言の先生方、会場校の校長先生方、授業者の先生方に心より感謝申し上げます。

## 家庭部門

家庭科部門では、上天草市教育委員会の福田直理指導主事に講話をしていただきました。家庭科の目標や指導事項、家庭科教育で目指すものなどについて丁寧な教えていただき、家庭科教育の重要性を再確認できました。また、後半は家庭科の教材作りや様々な資料を見せていただき、すぐに授業に活かせる研修で大変勉強になりました。本年度は家庭科部門に入っていた先生方が増え有難かったです。今後さらに研修内容を工夫し、家庭科教育の充実を図っていききたいです。

## 理科部門

一(小学校理科実験講習会)平成二十六年八月二十二日(金)、本渡南小学校を会場に開催。参加者は三十人。本年度は第六学年理科単元の実験観察について講習しました。

二(平成二十六年度小学校理科部門別研修会)平成二十六年十一月二十一日(金)、亀川小学校を会場に開催。参加者は三十人。亀川小学校酒井成寿教授の指導による第四学年「もののおたまりかた」の研究授業が行われ、「実感を伴った理科学習の創造」をテーマに研究協議を行いました。最後に龍ヶ岳小学校沼田龍弥校長に助言をいただきました。

## 技術・家庭部門

「学びを生かし、明日への生活を創り出す技術・家庭科教育」の研究主題のもと、第六十四回熊本県中学校技術・家庭科教育研究大会(天草大会)を開催し、百五十人超の参加がありました。自然豊かな天草とも関わりが深い「環境」に視点をあてた研究に取り組み、参加者からも高い評価をいただくことができました。技術・家庭部門の全員が力を合わせて研究に取り組んだことは、個々の授業実践力の向上にもつながり、大変有意義であったと考えます。

## 生活総合的な学習部門

十二月一日天草郡市研究会で上天草市立上小の永野ひとみ教諭による生活科二年公開授業を行いました。町探検で見つけた「すてきな人」の紹介やG.Tの話の聞き、自分の町の上さに気付き表現する児童の姿がすばらしかったです。また山本幸恵教諭による県研究報告で実践事例を交え指導上のポイントを、荒木明美指導主事は授業の評価を含めて日頃の授業作りについて詳しく力強く話されました。参観者から参加してよかった、豊かな体験が言語活動の充実につながっていた等の感想がありました。

## 体育部門

本年度は「運動技能を確実に身に付けるための工夫」と「体育授業における言語活動の充実」を小中共通の実践事項として研究を進めました。一月には、小中学校のスムーズな接続を意識し、「基礎的・基本的技能の習得とその活用」を目指し、陸上競技(ハードル走)の実技研修会を行いました。基本技能を定着させるためのスキルアップトレーニングやつまずきに対する分りやすい指導言葉の提案など有意義な研修となり、参加の先生方も意欲的に活動されました。